

てんしんらんまん
天真爛漫
情報誌
じょうほうし

イノセント 176号

2017年6月11日(日)号 200,000部発行 新聞折込

清水区、清水区由比・清水区蒲原 100,000部 / 葵区・駿河区 100,000部

新聞折込 他 市内施設に150ヶ所設置配布

総合印刷業・総合広告代理店 / 佐野印刷株式会社 ☎054(368)4461 054(368)4481
〒424-0846 静岡市清水区木の下町111 E-mail shimizu@sano-printing.jp
http://www.sano-printing.jp

地元で創業37年の実績。更なる進革

●ポータルライセンススクール キャンペーン実施中 詳しくはコチラ▶▶

スルガマリンサービス 実技講習会場 清水マリナー 学科講習会場 折戸マリナー

1級: 来校4日 2級: 来校3日で取得可能 水上バイク: 来校2日 ☎0120-017-120



貴方の大切な背広・ズボン タンスの中に眠っていませんか?

リフォームして、今の時代に再現しませんか?
再利用して、次世代の子供達にも、お役に立たせます。
私が再利用をお約束いたします。

☆ニッカポッカズボンの仕立ても承ります。



一級技能士 石野 吟三



紳士服 テーラーイシノ

〒424-0946 静岡市清水区八千代町1-38(清水区美濃輪神社西側)

TEL 054-352-6071 (まずは電話一本から)



- 三保で出会ったら笑顔で三保ポーズ!
- 三保松原 世界遺産で結婚式を挙げませんか! [御穂神社・三保松原・神の道]

興津のまちづくりは興津住民の手で NPO法人 AYUドリーム

みんなで
楽しく
まちづくり
やっています!!



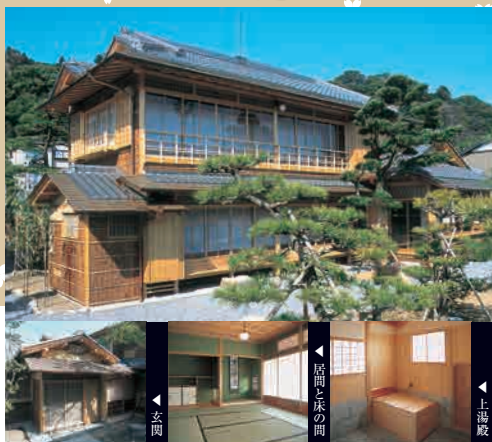
写真提供 / NPO法人 AYUドリーム

西園寺公望公別邸

興津坐漁荘

最後の元老、興津で日本を動かす。よみがえる記憶

坐漁荘は、明治の元老・西園寺公望公が、大正8年、興津清見寺町に建てた別荘で、現在は明治村に移築され、国の登録文化財として公開されています。坐漁荘は、公が好んだ竹の欄間の精密な造作を始め、優れた職人技が凝縮された建築物です。静岡市は、この建物の歴史的経過を踏まえ、歴史的な文化財として、もとあったこの地にできる限り忠実に復元しました。



入館のご案内
入館料 無料
開館時間 平日: 午前10時~午後5時
土日祝: 午前9時30分~午後5時30分
休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日~1月3日)
※館内での飲食・持込みは出来ません。

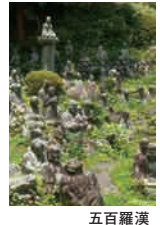
交通のご案内
●JR清水駅からバス三保山の手線「清見寺前」下車
●JR興津駅より徒歩15分 ●駐車場有り

お問い合わせ先 **興津坐漁荘**
〒424-0206 静岡市清水区興津清見寺町115番地
Tel・Fax.054-369-2221

歴史文化の薫りが調和する興津地区

興津清見寺

朝鮮通信使ゆかりの地



五百羅漢



仏殿



鐘楼



総門

所在地 ●静岡市清水区興津清見寺町418番地1

交通アクセス

- 自動車を御利用の方
東名高速道路清水インターから約10分
- バスを御利用の方
JR清水駅前から約10分、清見寺前下車
JR興津駅から約5分、清見寺前下車
- 電車を御利用の方
JR興津駅から徒歩15分



《歴史・文化・伝統》 地域の財産を活かして 元気に、楽しく、笑顔で、 みんなでまちづくり

静岡市清水区興津地区の取り組み

が政令指定都市へと移行を果たした年でした。

その頃興津では丁度、老朽化した「公民館」の立て替えが計画され、同時に市では「公民館」から「交流館」へと体制が変わろうとしていた地域にとって重要な転機を迎えている頃でもありました。

そんな中「興津地区は興津の住民の手でまかなえる団体を立ち上げたらどうだろう」という構想が持ち上がったのでした。

そこで、新しくできる交流館の活用等を考える交流館建設委員会のメンバーや育成部、PTA、などの地元各種団体や「おだっくい」に関わっていた人たちも巻き込んで「興津まちづくり協議会」が発足し、交流館の運営を引き受ける事を模索する中、任意団体ではなく正式にNPO法人としてその名を「AYUドリーム」として設立されたのでした。

ユニークな 名前の由来

「AYUドリーム」の法人名が決まる経緯はとてもユニークで、またその名には地元の想いがしっかり詰まっています。

AYUドリーム設立から遡ること数年前「興津の住民の心がひとつになれるものを」との思いで、イメージキャラクターが作られることになりました。

える清流「興津川」を代表する「鮎」に着想を得たキャラクターが描かれたのでした。

そして、子どもたちから名前を公募したところ「鮎夢」と応募があり、「歩む」、「歩んでいこう」と言う思いも込めて「あゆむ」と命名されたのでした。併せて興津の地理的な位置、歴史の表舞台となってきたこと、住民が中心となって地域を盛り上げてきたことから「日本のまん中に興津がいた」と言うキャッチフレーズが加えられました。

完成したキャラクターは興津のことであれば何にでも使って良いことから協議会のネーミングを考える際に「鮎夢」だから「あゆドリーム」にしましょう」と意見にまとまり正式に「AYUドリーム」と決まったのでした。

まちづくりに つながる活動

法人化される以前、AYUドリームは育成部の女性を中心となって活動していました。その活動は子どもたちの

見守ること、新しい交流館の完成に合わせては特に雨の日に安心・安全に子どもたちを見守ることが出来るスペースの確保を目指していたのでした。

同時に法人化にあたっては先述のとおり目的の一つとして交流館の運営を模索しましたが、これは清水区生涯学習交流館運営協議会が担うこととなり断念せざるを得なくなりました。

そこで、他に興津にとってできることはないだろうかと考えている時に、外からのアドバイスもあり地元にとって重要な歴史的建造物である「坐漁荘」のPRとまちの賑わい創出を目指したイベントを企画し「大正ロマンin坐漁荘」を開催しました。このイベントの実績を認められ、さらに法人化したことも手伝って「坐漁荘」の運営を任せられることとなりました。

今では交流館に確保したスペースで、子どもたちの見守りとコミュニケーションの場として喫茶店の運営と子育て支援、坐漁荘の運営に加え、法人設立後ほどなくして出会った「清見寺と朝鮮通信使」



イベントで披露した「朝鮮通信使、創作演劇

まり、今では大人が夢中なるほど本格的な行列の再現に至っています。

今の課題と 今後に向けて

設立から10年以上が経ち、地域においてはその名も活動も認知され、イベントも定着してきました。そして同時に今後に向けた課題も見えるようになってきました。

イベントに関してみれば地元を盛り上げることが本来の目的なのですが、肝心の地元の方(特に子ども)の参加が少ないことが気になっていました。時代の流れによる子どもたちを取り巻く環境の変化はあるものの、地元の理解を今以上に深め、保護者とともにたくさん子どもたちが参加できるようにしたいと思っています。

そこで、不可欠なのがPRですが、実はここが不得意なところでもあります。

このPR不足がいろいろな意味で課題の一つです。AYUドリームは長年、気心知れた仲間たちが苦楽を共にして活動してきたのですが、これが今となってはメリットでありデメリットにもなっています。

立されていないのが実情です。一部からは「仲良しグループには入りにくい」と言った声もチラホラ聞こえてきます。

このような課題を解消するために今、必要なのは気軽にAYUドリームを身近に感じてもらい気軽に立ち寄れるサロンを兼ねた団体の拠点の確保と、周りにも理解いただける組織づくりが求められています。

イノセントから ひと言

NPO法人AYUドリームの取り組みは、静岡市内のまちづくりとしては先駆的なことです。

「まちづくりは地元住民の手で」と考えている地域はたくさんあると思いますが、ほとんどが地元住民のボランティアで成り立っているところが多いと思います。(もちろんAYUドリームの理事のみならずもほとんどボランティア活動です)ただ、積極的にまちづくりを進める上では「法人化」は一つの選択肢ではないかと思っています。

まちづくり法人 誕生秘話

NPO法人AYUドリームは平成17年に設立された興津のまちづくりを目的とした団体です。

興津地区では法人設立以前から地域で活動する各種団体

伝えて行きたい、知って欲しい地域に残る 「歴史財産」《西園寺公望と坐漁荘》



当時の坐漁荘

西園寺公望(さいおんじんもち/1849~1940)は、明治・大正・昭和の時代を自由主義の政治家として貫いた、我が国近代の元老の一人です。

元老とは、近代日本特有の政治的存在で、

重要施策(ことに後継内閣の推挙)について、天皇の諮問に応える強力な発言力を持つ重臣の呼び名のことです。

大正13年7月、松方公の死後、西園寺公は、ただ一人の元老として内閣首班の推挙や政変ごとの陛下のご下問への奉答をしてきました。

西園寺公が70歳になった大正8年(1919)、風光明媚な清見湯に臨む興津清見寺に老後の静養の家として建てられた別荘が「坐漁荘」です。

実際の坐漁荘は「興津詣で」と称されたとおり、訪れる政府の要人が後を絶ちませんでした。その後老朽化した坐漁荘は取り壊され、愛知県

の明治村に移築されました。現在、興津にある坐漁荘は復元工事により、2004年から一般公開されています。建物は木造2階建ての京風数寄屋造りで、図面を基に忠実に再現されています。



西園寺公望公

知っておきたい 「朝鮮通信使」とは

今まで当紙では何度か登場してきた「朝鮮通信使」ですが、ここで改めて簡単に紹介

しておきたいと思っています。

朝鮮通信使とは、江戸時代に徳川家康が豊臣秀吉の朝鮮出兵で途絶えた国交を回復させようと日本に招いた朝鮮王朝の外交使節団のことです。

最初の一行が1607年に漢陽(ソウル)から対馬から日本に入り江戸を往復、後に12回に渡り交流が続きました。

第1回の使節団においては家康公が興津で彼らを迎え清水港から豪華な舟を出し、駿河湾からの富士山の眺望、三保松原の景色を楽しんだばかりか、駿府城で歓待したと言われています。

このようなことから、興津のまちでは通信使が通る時には街道が大勢の人で埋め尽くされ、色彩豊かで華やかな衣装を着て、ラッパなどの楽器を鳴らして練り歩く姿を見た子どもたちは、彼らの真似をして遊んだと言うことです。

ちなみに、AYUドリームの朝鮮通信使はこの「子どもたちが真似をした」と言う史実をヒントに、子どもたちの行列をやってみよう!から始

2017
7月 9日
一日のみ

国際海洋文化都市・客船が似合う清水港
富士山三保松原 世界遺産 登録4年目

清水駅前が劇場!!

第65回 清水七夕祭り 7/6(木)・7(金)・8(土)・9(日)

第2回 七夕フェスティバル

このイベントは清水区全体で活性化を目的として行われています。 **小雨決行**

午前10:15~午後5:00 会場 / 大和屋・タリーズコーヒー清水駅前店前

歌



参加
無料

7月9日(日) 13時~
**素人七夕
のど自慢大会**

募集

参加希望者は子供から高齢者まで
(年齢は問いません)

先着50名様限定

午後1:00~午後5:00

出場者は11時30分までに会場に集合ください。

お申し込み方法

参加希望の方はお名前・住所・TEL・FAXを記入して

FAX054-368-4481

にお申し込み下さい。

のちに正式な申込書をFAXいたします。

お申し込み書に記入の上再度、参加申込書を
FAXして下さい。

(6月20日(火)申し込み締め切り)

※50名に達したらその時点で締切とさせていただきます。

第2回七夕フェスティバル実行委員会
携帯 090-3155-6656(佐野)担当

締め切り迫る!!お申込みはお早めに。

踊り



7月9日(日) 当日スケジュール

- 10:15~ 開会式
- 10:30~ ☆ヒップホップダンス
STUDIO ARTS
- 11:20~ ☆フラフープダンス
キッズフープブーン
- 12:10~ ☆港かっぽれ総踊り
- 13:00~ ☆七夕のど自慢大会
- 17:00~ 表彰式(清水七夕賞3本贈呈)

- ☆審査委員長 / まつなが みつお
松永 光生
静岡県歌謡指導者連盟副支部長
清水歌謡音楽協会 会長
- ☆審査委員 / よってこ商店街振興会
会長 久保田博己
- ☆ゲスト / 高木 たかし
(カントリーシンガー)
- ☆司会 / 佐々木 万里野

まぐるの水揚げ日本一 清水港

駅前に来るよ! 「つなぐ君」

TUNA*GO!
SHIMIZU



清水駅前よってこ商店街振興会
第2回 清水七夕フェスティバル実行委員会

後援 / 清水区自治会連合会・静岡商工会議所・清水元気倶楽部
協力 / 清水有線株式会社・清水水道設備(株)・味楽亭はしもと